

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス おむすびやま		
○保護者評価実施期間	R6 年 12 月 1 日		～ R7 年 1 月 31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	R6 年 12 月 1 日		～ R7 年 1 月 31 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	R7 年 2 月 19 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こども一人ひとりの特性や発達段階に応じた個別支援を大切にしながら、集団活動とのバランスを取り、安心して過ごせる環境づくりができてきている点が強みである。	日々の支援においては、職員間での情報共有や振り返りを重視し、こどもの小さな変化にも気づける体制づくりに努めている。また、保護者との連携を大切に、日々の様子を丁寧に伝えながら信頼関係の構築に取り組んでいる。	今後は職員研修の充実や外部機関との連携を強化し、専門性の向上と支援の質のさらなる向上を図っていく。
2	多様な活動(創作活動・体験活動・地域との関わり等)を通じて、こども達の「できた」「楽しい」という経験を大切に、自己肯定感の向上につながる支援ができてきている点が強みである。	活動プログラムが固定化しないよう、季節行事や地域資源を活用した取り組みを積極的に取り入れている。また、職員間での話し合いや振り返りを行いながら、こども一人ひとりに合った関わり方を工夫している。	今後は地域との連携をさらに深めるとともに、外部との交流機会を増やし、社会参加や経験の幅を広げる支援を充実させていく。
3	職員間の連携が図られており、日々の支援に対する振り返りや改善を継続的に行うことで、支援の質の向上に組織的に取り組んでいる点が強みである。	支援前後の打ち合わせや記録の徹底により、こどもの状況や支援内容の共有を図り、一貫性のある支援を行っている。また、保護者からの意見や要望についても積極的に取り入れ、運営改善につなげている。	今後はPDCAサイクルをより明確に運用し、記録やデータを活用した客観的な評価と改善を進めることで、より質の高い支援体制の構築を目指していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援内容やこどもの状況に関する情報共有について、職員間で認識のばらつきが生じる場面がある。	日々の業務の中で記録や伝達方法が統一されていないことや、情報共有の時間が十分に確保できていないことが要因と考えられる。	記録様式の統一やICTの活用などにより情報共有の効率化を図るとともに、支援前後の打ち合わせを充実させ、職員間の共通理解を深めていく。
2	活動内容や支援の幅について、さらなる充実を図る余地がある。	日々の支援の安定運営を重視する中で、新しい取り組みや外部との連携機会の拡充が十分に進められていないことが要因である。	地域資源の活用や他事業所・関係機関との連携を積極的に進めるとともに、職員間でのアイデア共有の機会を設け、活動内容の多様化と支援の質の向上につなげていく。
3	支援の質の評価や改善に関する仕組みについて、より体系的かつ客観的な運用の強化が必要である。	日々の記録や振り返りは実施しているものの、それらを分析・評価し、継続的な改善につなげる仕組みが十分に整理されていないことが要因である。	PDCAサイクルを明確にし、定期的なモニタリングや評価の機会を設けることで、支援の質を客観的に見直す体制を構築する。また、職員研修を通じて評価・改善の視点を共有し、組織全体の質の向上を図っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数	
放課後等デイサービス おむすびやま		R7年 3 月 31 日				20人	10
		利用児童数				回収数	
		20人				10	
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	8	0	0	2		おりますが、利用人数や活動内容に応じて配置を見直し、より安全で快適に過ごせる環境づくりに努めてまいります。
	2	3	2	0	5		ますが、こどもの特性や状況に応じた柔軟な配置を行い、より安心できる支援体制の強化に努めてまいります。
	3	5	0	0	5		直しを行い、障害特性に応じた分かりやすく安心できる環境づくりを進めてまいります。
	4	7	1	0	2		清潔で心地よい空間の維持に努めるとともに、活動内容に応じた環境設定の工夫を継続してまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5	6	3	0	1	専門性という難しい気がします。	こども一人ひとりの特性理解をさらに深め、職員の専門性向上を図りながら、より質の高い支援の提供に努めてまいります。
	6	7	0	0	3		支援プログラムと実際の支援内容の整合性を継続的に見直し、より分かりやすい形での説明と公表に努めてまいります。
	7	7	1	0	2	保護者との話し合いがありませんので	アセスメントの充実を図り、こどもと保護者のニーズをよき確に反映した個別支援計画の作成に努めてまいります。
	8	8	0	0	2		ガイドラインに基づき、本人支援・家族支援・移行支援を意識した具体的な実践的な支援内容の設定を行ってまいります。
	9	8	0	0	2		個別支援計画に基づいた支援が確実に実施されるよう、職員間の共有と確認体制を強化してまいります。
	10	5	1	0	4	雨の日でも遊びはないか？	活動プログラムが固定化しないよう、季節やこどもの興味関心に応じた多様な活動を取り入れてまいります。
	11	3	1	3	3	必要ない	地域との交流については状況に応じて検討し、無理のない範囲で社会とのつながりを持てる機会づくりに努めてまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	9	1	0	0		運営規程や利用内容について、より丁寧に分かりやすい説明を行い、安心して利用していただけるよう努めてまいります。
	13	5	0	2	3		個別支援計画の説明については、保護者にとって理解しやすい表現を心がけ、丁寧な説明に努めてまいります。
	14	2	0	4	4		家族支援については、情報提供や相談機会の充実を図り、保護者の安心感につながる支援を強化してまいります。
	15	7	1	1	1		日々の情報共有を大切に、こどもの状況について保護者との共通理解をより深めてまいります。
	16	2	3	5	0		定期的な面談や助言の機会を確保し、保護者のニーズに応じた支援を継続してまいります。
	17	7	2	0	1		こどもや保護者の気持ちに寄り添い、共感的な関わりができるよう職員一同で意識向上に努めてまいります。
18	1	1	2	6	きょうだい児に（割引で）いちご狩りに招待してほしい	保護者同士やきょうだいの交流機会について、実施方法を工夫しながら充実に向けて検討してまいります。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	2	0	2		相談体制の周知を徹底し、相談しやすい環境づくりと迅速かつ丁寧な対応に努めてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	2	1	0		子どもや保護者に応じた伝達方法を工夫し、より分かりやすい意思疎通が図れるよう努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	0	0	2		通信やSNS等を活用し、活動内容や情報を分かりやすくタイムリーに発信できるよう改善してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	0	0	1		個人情報の取扱いについては、引き続き適切な管理を徹底し、安心して利用いただける体制を維持してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	2	0	6		各種マニュアルの周知と訓練内容の見直しを行い、実践的な対応力の向上に努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	1	0	6		災害時に備えた訓練を継続的に実施し、子ども達の安全確保に努めてまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	2	0	2		安全計画に基づき、安心して過ごせる環境づくりと安全対策の強化を継続してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	1	0	2		事故発生時には迅速な連絡と丁寧な説明を徹底し、再発防止に向けた取組を強化してまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10	0	0	0		子どもが安心して通所できる環境づくりを継続し、一人ひとりに寄り添った支援を行ってまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	1	0	0		子どもが通所を楽しみにできるよう、魅力ある活動や関わりを大切にまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	0	0	0	月に1回自己負担でもいので、有料施設に連れて行ってほしい（養護学校だけが休みの日や帰宅が早い日など）	支援の質の向上に努め、子どもや保護者に満足していただける事業所運営を目指してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス おむすびやま		公表日		R7 年 3 月 31 日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	3		職員配置については基準を満たしているが、こどもの特性や支援内容に応じた柔軟な配置について、さらなる工夫が求められる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	絵カードを利用したり、車いすの利用者にはスロープを使用しています。	生活空間の構造化や環境配慮は実施しているが、より分かりやすく安心して過ごせる環境づくりに向け継続的な改善が必要である。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1		清潔で心地よい環境は維持されているが、活動内容に応じた空間設定についてさらなる工夫が必要である。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	大人数から少人数に切り替えられるよう、部屋によって人数を変えたり個別に対応できるようにしています。	個別対応が必要な場面において、より柔軟に対応できる環境整備を進める必要がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	2	30分～1時間前に日々ミーティングをし、振り返りや確認をしています。	PDCAサイクルは実施しているが、全職員が主体的に参画できる仕組みの強化が必要である。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0		保護者の意見は把握しているが、業務改善へより明確につなげる仕組みの強化が必要である。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	週に一度ミーティングを行っている。	職員の意見収集は行っているが、改善に活かすための仕組みづくりの充実が必要である。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2		第三者評価の活用については、今後導入や活用の検討を進めていく必要がある。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	研修動画で月に1回必ず勉強する機会を設けています。	研修機会は確保しているが、学びを現場に還元する仕組みのさらなる強化が必要である。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1	ホームページにて公表	支援プログラムは作成・公表しているが、内容の見直しや分かりやすい発信方法の工夫が求められる。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0		アセスメントの質を高め、こどもと保護者のニーズをよりの確に反映した計画作成につなげていく必要がある。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1		支援計画作成時の職員間の連携をさらに強化し、多角的な視点での検討を充実させる必要がある。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	2	その都度共有し、職員間で支援が出来ているか確認しています。	支援計画の共有を徹底し、全職員が一貫した支援を行える体制づくりが必要である。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1		フォーマルなアセスメントの活用について、必要に応じて導入や活用の検討が必要である。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		ガイドラインに基づいた支援内容について、より具体性と実践性のある計画作成が求められる。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1		活動プログラムの立案について、チームでの検討機会のさらなる充実が必要である。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1		活動内容が固定化しないよう、新たな取り組みの導入を継続していく必要がある。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		個別活動と集団活動のバランスについて、こどもの状況に応じた調整をさらに工夫する必要がある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1		支援前の打ち合わせについて、役割分担や支援内容の明確化をさらに徹底する必要がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	振り返りを毎日行っています。	支援後の振り返りの質を高め、改善につながる共有方法の工夫が必要である。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0		支援記録の内容を充実させ、検証・改善により活用できる仕組みづくりが必要である。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		モニタリングの精度を高め、適切な計画見直しにつなげる必要がある。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0		基本活動のバランスを意識し、より効果的な支援の組み合わせを検討していく必要がある。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力や育てるための支援を行っているか。	9	0		こどもの自己決定を促す支援について、環境設定や関わり方の工夫をさらに進める必要がある。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	2		関係会議への参加体制を整え、より適切な情報共有ができる体制づくりが必要である。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	連携をとれる体制作りをしています。	関係機関との連携について、継続的な関係構築と情報共有の強化が求められる。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1		学校との連携について、情報共有や連絡体制のさらなる充実が必要である。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	1		就学前機関との情報共有について、支援の連続性を意識した連携の強化が必要である。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0		卒業後の移行支援について、関係機関との連携体制のさらなる整備が求められる。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1		児童発達支援センターとの連携について、助言や研修機会の活用をさらに進める必要がある。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	2	イベントに参加し、交流を深めています。	地域交流の機会について、状況に応じた実施方法の工夫が必要である。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	4		地域の会議等への参加について、より積極的な関わりが求められる。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0		保護者との情報共有をより丁寧に行い、共通理解の深化を図る必要がある。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2		家族支援について、研修や情報提供の機会の充実が求められる。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時にお伝えしています。	運営規程等の説明について、より分かりやすい説明方法の工夫が必要である。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		こどもや保護者の意向確認について、より丁寧な対応が求められる。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	意向を確認し、同意を得ています。	支援内容の説明と同意取得について、理解しやすい説明の工夫が必要である。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	2		相談支援について、より相談しやすい環境づくりの強化が必要である。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	3		保護者同士の交流機会について、充実に向けた検討が必要である。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		苦情対応体制の周知と迅速な対応について、さらなる強化が求められる。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	1		情報発信について、分かりやすさとタイムリーな発信の工夫が必要である。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	1	十分留意しています。	個人情報の管理について、継続的な意識向上と確認が必要である。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	1	LINEや連絡帳等で保護者の方とやり取りをしています。	意思疎通支援について、個々に応じた対応のさらなる工夫が必要である。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	3		地域に開かれた運営について、取り組みの拡充が求められる。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	年2回訓練を実施しています。	各種マニュアルの周知と訓練について、実践的な内容への見直しが必要である。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	年2回訓練を実施しています。	BCPの実効性を高めるため、継続的な訓練の実施が必要である。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0		健康状態の把握について、より丁寧な確認体制の維持が求められる。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	事前に把握しています。	アレルギー対応について、確認体制の徹底と共有の強化が必要である。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		安全管理について、研修や訓練の継続的な実施が必要である。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	ヒヤリハットを作成し、再発防止に努めています。	安全計画の周知について、保護者との連携強化が求められる。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0		ヒヤリハットの共有について、再発防止につながる活用の強化が必要である。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		虐待防止について、継続的な研修と意識向上が求められる。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	身体拘束はしません。	身体拘束について、適切な手順と説明体制の徹底が必要である。	